

## パネルディスカッション 第 2 部

### テーマ 相双地域から考える新しい地域の創造

地域住民、U ターン、域外からの進出と、お互い異なる立場ながらも、相双地域で魅力ある取組みを展開しているパネリスト 3 人それぞれの思いを熱く語って頂くとともに、石川県羽咋市での先駆的な取組みの紹介も交えながら、これからの地域づくりのあり方を探っていきます。



モデレーター 一般社団法人 RCF 代表理事 藤沢 烈 氏

京都市生まれ。一橋大学卒業後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て独立し、NPO・社会事業等に特化したコンサルティング会社を経営。東日本大震災後、内閣官房震災ボランティア連携室勤務を経て RCF 復興支援チーム（現・一般社団法人 RCF）を設立。企業や省庁・地方自治体のディスカッションパートナーとしてひと・まち・産業の復興事業創造や事業推進に伴走してきた知見を活かし、近年は東北以外の地方創生や多様な社会課題にも取り組みを広げている。



ゲスト 高野 誠鮮 氏

石川県出身。羽咋市の公務員時代に奇抜なアイデアと行動力で地元の米である神子原米（みこはらまい）をローマ法王に食べてもらい、見事に米のブランド化に成功させた立役者。限界集落を蘇らせ、伝説のスーパー公務員として TV ドラマの主人公モデルにもなった。現在は妙法寺住職、総務省アドバイザー、立正大学の教授なども務めている他、「奇跡のリンゴ」青森県木村秋則氏と共に自然栽培の普及に向け全国を駆け回る日々を過ごす。



パネリスト 特定非営利活動法人 Jin 理事 川村 博 氏

浪江町生まれ。2005 年、NPO 法人 Jin を立ち上げ、浪江町で高齢者・障がい児者のデイサービス等を開設。震災後は避難した方々の生活支援のためにサポートセンターを運営。また、ふるさととは美しくなければならぬと、2013 年から同町で農業を開始。翌年から、トルコギキョウを中心とした切り花の営農に取り組み、そのクオリティーは、東京などで高い評価を受けている。



パネリスト コドモエナジー株式会社 代表取締役 岩本 泰典 氏

大阪府生まれ。2004 年省エネルギー製品の製造販売会社「コドモエナジー」を設立。有田焼の伝統技術を活かした蓄光・蛍光建材「ルナウェア※」を開発。震災後、川内村に設立した工場生産を開始、2017 年 4 月には東京メトロ、2017 年 10 月に営業再開した JR 富岡駅舎への納入を手始めに「ルナウェアを通じて被災地を照らしていきたい」と語る。※経済産業省主催「第 4 回ものづくり日本大賞」を受賞。



パネリスト 株式会社小高ワーカーズベース 代表取締役 和田 智行 氏

小高町（現・南相馬市小高区）出身。大学入学を機に上京。2005 年 7 月、東京の IT ベンチャー企業の取締役就任後、U ターン。東日本大震災に伴う原発事故では自宅が警戒区域に指定され、避難先を転々とした後、いち早く小高区に戻る。2014 年 5 月に小高で避難区域初となるコワーキングスペース「小高ワーカーズベース」を皮切りに、「地域の 100 の課題から 100 のビジネスを創出する」という思いを持って、事業を続々と立ち上げている。

**後援** 内閣府、経済産業省、復興庁、独立行政法人中小企業基盤整備機構、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、（一社）東北経済連合会、一般社団法人全国信用金庫協会、一般社団法人全国信用組合中央協会、一般社団法人全国銀行協会、福島県商工会連合会、福島県中小企業団体中央会、福島県商工会議所連合会、南相馬市、浪江町、川俣町、飯舘村、田村市、葛尾村、川内村、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町、原町商工会議所、小高商工会、鹿島商工会、浪江町商工会、川俣町商工会、飯舘村商工会、都路町商工会、葛尾村商工会、川内村商工会、双葉町商工会、大熊町商工会、富岡町商工会、楡葉町商工会、広野町商工会、浜通り広域指導センター、一般社団法人福島県銀行協会、福島県信用組合協会、福島県信用金庫協会、中小企業診断士協会、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、日本経済新聞社福島支局、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、NHK 福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、一般財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

# 福島相双復興シンポジウム

～相双地域の事業・なりわい再生から福島の未来を創造する～

平成 30 年 3 月 3 日（土）13:30 ～ 17:00（12:30 会場）

会場：ビッグパレットふくしま（郡山市）

## プログラム

主催



公益社団法人  
福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）



福島県





## ご挨拶

公益社団法人福島相双復興推進機構 理事長 福井 邦顕

東日本大震災から7年、福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)の活動開始から2年半が経ちました。本日は「相双地域の事業・なりわい再生から福島の未来を創造する」をテーマに、アイリスグループの大山会長、震災後に事業再開された皆様、地域づくりにつながる事業をしている皆様よりお話し頂きます。このシンポジウムが、参加された皆様の今後の事業展開や福島・相双地域の未来を考察する機会になれば幸いです。



## ご挨拶

福島県知事 内堀 雅雄

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇10〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇20〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇30〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
40〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇50〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇●

## 議事次第

### 13:30～13:40 冒頭挨拶

公益社団法人福島相双復興推進機構 理事長 福井 邦顕

福島県副知事 畠 利行

内閣府原子力災害対策本部本部長／経済産業副大臣 武藤 容治

### 13:45～14:40 基調講演

テーマ ユーザーインの経営と福島の復興に向けて

講演者 アイリスグループ 会長 大山 健太郎 氏

### 14:40～14:50 休憩

### 14:50～15:50 パネルディスカッション 第1部

テーマ 相双地域の復興をけん引する事業者の取り組みと今後のビジョン

モデレーター 一般社団法人福島県中小企業診断協会 会長 渡辺 正彦 氏

パネリスト 株式会社伊達屋 代表取締役 吉田 俊秀 氏

パネリスト 株式会社ふたば 代表取締役 遠藤 秀文 氏

パネリスト フジモールド工業株式会社 代表取締役社長 岡田 英征 氏

パネリスト 株式会社フタバ・ライフサポート 代表取締役 志賀 崇 氏

### 15:50～16:00 休憩

### 16:00～17:00 パネルディスカッション 第2部

テーマ 相双地域から考える新しい地域の創造

モデレーター 一般社団法人RCF 代表理事 藤沢 烈 氏

ゲスト 高野 誠鮮 氏

パネリスト 特定非営利活動法人Jin 理事 川村 博 氏

パネリスト コドモエナジー株式会社 代表取締役 岩本 泰典 氏

パネリスト 株式会社小高ワークスベース 代表取締役 和田 智行 氏

## 基調講演

テーマ ユーザーインの経営と福島の復興に向けて

経営者として長年にわたり苦難を乗り越え、事業を発展させてきた経験、特に、生活者目線で物事を考え、生活者の潜在的な不便等を解消する「ユーザーイン経営」による事業成長の経験や、人材育成、農業復興支援などの取り組みを通じた福島の復興への展望をお話いただきます。



講演者 アイリスグループ 会長 大山 健太郎 氏

19歳で家業を継承、大山ブロー工業所(現アイリスオーヤマ)代表者に就任。工場を国内8カ所に建設。

1992年アメリカ、1996年中国、1998年オランダなどに現地法人を設立し、現地生産、現地販売で事業を展開。

地方から世界で展開するグローバル企業に成長させ、現在に至る。

## パネルディスカッション第1部

テーマ 相双地域の復興をけん引する事業者の取り組みと今後のビジョン

相双地域で被災され、困難を乗り越えて事業を再開された事業者の皆様に、事業再開にかける思いや未来への事業展望を語っていただくとともに、今後も相双地域でチャレンジしていくにあたり、地域の復興・再生に対する地元事業者の目線からの期待、関与のあり方についてお話いただきます。



モデレーター 一般社団法人福島県中小企業診断協会 会長 渡辺 正彦 氏

(株)東邦銀行元常務取締役。数多くの事業再生を手掛け、退職後も、(一社)福島県中小企業診断協会会長、福島県よろず支援拠点チーフコーディネーター、オールふくしまサポート委員会委員長等として、県内中小企業の経営支援・事業再生に携わっている。



パネリスト 株式会社伊達屋 代表取締役 吉田 知成 氏

明治より「伊達屋」の名称で燃料販売を続ける老舗の後継者。2016年に代表取締役就任。震災後、復興工事が進む中、相双地域での燃料調達の大変さを聞き、帰還困難区域特有の困難を乗り越え、2017年に双葉町の国道6号線沿いにて事業を再開。



パネリスト 株式会社ふたば 代表取締役 遠藤 秀文 氏

富岡町出身。東京の大手建設コンサルタント会社でODAの開発調査などを経験後、富岡町に戻り、2013年に代表取締役就任。震災後、避難指示に伴い、拠点を郡山市に設けて県内各地の土木や環境などの分野で復興に貢献。2017年に富岡町に帰還再開し、浜通り地方の復興に尽力している。



パネリスト フジモールド工業株式会社 代表取締役社長 岡田 英征 氏

1974年に創業。精密プラスチック部品の金型設計・製作から成形加工まで一貫して手掛けている会社の2代目。2014年に代表取締役社長就任。富岡町の本社工場が原発事故により操業停止となったが、500kgもある金型を人力で回収するなどサプライヤーとしての事業継続に並々ならぬ熱意を持つ。



パネリスト 株式会社フタバ・ライフサポート 代表取締役 志賀 崇 氏

浪江町生まれ。2011年に双葉設備工業(株)から分社し、株式会社化した。震災後、富岡町で経営していた宿泊業を広野町にて再スタート。2015年に広野町で「ホテル双葉邸」、楡葉町で「下宿陽光荘」を開業。復興に携わる方々にくつろげるような住環境を提供している。